
東北関東巨大地震で多大な被害にあわれた皆様へ 心からお見舞い申し上げます

- この度の東北関東地方を襲った巨大地震に対して、在日のウズベク・中央アジアの皆さんおよび海外からの
お見舞いメールが次々届いております。
- ★ カリモフ大統領の命令により、3月23日の早朝、外務省宛にウズベキスタンから特別便が支援物資（毛布・
長靴など）を運んで成田に到着しました。協会からも、カリモフ大統領はじめウズベキスタン国民の皆様へ「暖
かいご好意に感謝する」旨のお礼状をウズベキスタン大使館を通して送りました。
- ★ 以下、地震発生時より事務局に届いた在日ウズベキスタン・中央アジアの皆さまはじめ会員の皆さまからの
報告・お見舞いを順次紹介させていただきます。

【皆さまから頂いた、地震情報・お見舞い】

- * すごかったですね。皆さん大丈夫だったと思います。わが家族も問題ないこと確認済み。問題はJRもメト
ロも止まっていますので（会社のエレベーターも）帰宅できず会社に留まっています。
(会員：川野 隆久さん)
- * 何とか生き延びました！ 皆さんも元気ですか！ キツケのコーヒー飲んでいきます。
(会員：大平 淳一郎さん)
- * 浦安市は液状化で道路が亀裂と泥の噴出がいくつも見られ、我が家も隣家との境で水と泥が噴出し一時心配
しましたが幸い大事にはなりませんでしたが、今もガスがダメ、水もちよろちよ程度で風呂にも入れない有
り様です。
(会員：伊藤 雄一さん)
- * 昨日会社から歩いて帰ってきて、もうどこにも行きたくない感じです。（ロズィーアさん）
- * 初めてこんな地震（で）すごくびっくり（し）怖かった（です）。ナウルーズ パーティー楽しみにしてまし
た。でもいっぱいの方が大変苦勞しています。愉しめません。今家族全員おうちにいます。またいい時（に）
会いましょう。
(INNAさん：原文はローマ字)
- * ニュースのビデオを見て、まるでハリウッド映画を観ているようでした。気をつけて下さい。
(シュフラットさん 11日16：50)
- * ご家族と、友人の皆さまの安全を祈っています。
(留学生：シャリポフさん サウジアラビア ジェッダより 元留学生：アクマルさん)
- * 地震や津波で大変ですね。協会の皆さま大丈夫でしょうか。 (サマルカンド 元留学生：マヤさん)

- * 私と私の家族、そしてウズベキスタン国民も、この想像もできないような悲劇に同情申し上げます。一日も早くこの恐怖から立ち直って下さい。

(シルズィヨッド ユヌソフさん：

Tashikent Center for Testing and Certification Uzstandard Agency 理事長)

- * 日本の災害のことを知り大変驚いています。様子を知らせて下さい。

(ギジュドワン 陶芸家：アブドゥロさん)

(2 便) 原発の事故については、日本の皆さまの英知と技術できっと切り抜けてくれるものと信じています。

- * ここトルコでも、地震のことが大きく報道されています。協会員・留学生の方々に被害が出てなければと願うばかりです。

(会員：小野 亮介さん)

- * こちらは、かなり揺れたように感じましたが、全然ましな状況です。今は、計画停電への対応以外、普通の生活をさせてもらっています。

当分、通常の生活は難しいでしょうけど、頑張っていきましょう!!

(会員：塩野 泰大さん)

- * この度の大震災ですが、いつかのナボイ劇場の話を思い出しました。このナボイ劇場のことを思い出しきりめなないで生きていこうと思います。その話は竹田恒泰氏著「日本はなぜ世界で一番人気があるのか」に詳しく書かれていて、あらためて日本人のすごさを勉強しました。またウズベクの踊りができるといいですね。

(横浜市港北国際交流ラウンジ 交流企画部：小林 哲也さん)

- * こんにちは。ご無沙汰していますがいかがお過ごしでしょうか？最近テレビで日本の地震について放送されています。住んでいらっしゃる場所は無事でしょうか？ とても心配です。皆様無事でしょうか。早くよくなりますようお祈りしています。

(サマルカンド外国語大学：オゾダ さん)

- * 先ほどたまたま別の調べ物でグルジアのテレビ局「rustavi2」のサイトを見ていたら、2009年10月30日の第95回トークの会で報告なさったイヴァネ・ノザゼさんと思われる方が足を骨折したとのニュースが出ていました。

(会員：松井千尋さん)

→ (要約) <日本の地震で グルジア人が負傷>

東京大学大学院博士課程で勉強中のグルジア人 Ivane Nozadze さんが脚を負傷したと、在日グルジア大使館が発表。病院の担当医によると健康に異常はない模様。

- * 皆さん大丈夫ですか。何かすることがあったら言って下さい。国のほうから家族は帰って来いと言ってきていますが、日本でがんばるつもりです。何かあったら言って下さい。

(留学生：ジャスルさん 電話で)

- * 日本は大変な状況みたいなんですけど、大丈夫でしょうか。みんなウズベク人は日本についてすごく心配をしています。

(元日本語研修生：ラヒナマリさん)

* いつもお世話になっております。東日本大震災の被害が毎日のように伝えられる中、センターの受講者や関係者の方たちから何らかの形で支援ができないかという問い合わせや、励ましのメールをいただき、心強く思う毎日です。皆さんの声に答えようと、今日から当地JICA事務所とセンターで義援金の受付を開始しました。

(U J C : 木村 亜未さん)

* 日本で起きたこれらのひどい出来事について、私と妻のShoiraは皆さまのことを心配しています。皆さまの無事なことを願っています。テレビの恐ろしい画面を見るたびに、私の心は泣いています。福島原発の事故に対して私達の悲しみを表す言葉はありません。このように大変な時なのに、ただ皆さまの健康とご無事を祈ることしかできません。

日本で働いている間に、日本の人々と親しくお付き合いをし、皆様がこの世で一番すばらしくやさしい人たちだと思えるようになりました。いつも平和を愛し、献身的で、勇気がある人たちであることに驚きました。そのような人たちが、このような運命にさらされるなんて本当に悲しいことです。

心から日本の人たちの力を信じ、きっと皆様がこの悲劇に一致団結して立ち向かい、また地震や津波で失ったお国を復興させてくださるものと信じております。私の祈りが日本の皆様に届きますように。

(2便) 福島原発事故による放射能拡散の恐怖には、日本の優秀な技術できっと解決できるものと信じています。私達は、皆さまたちのために祈り続けます。

(原文 要約)

(Shoira and Akmaljon Kuchkarov : 元駐日ウズベキスタン大使館 2等書記官)

* 皆さん大丈夫ですか？

(元留学生ディナラさん：タシケント)

* 毎日テレビの画面にくぎ付けで、一体どうなっているのでしょうか。私がお世話になった福島の皆さんはどうしていますか。大変であれば、遠慮しないで我が家に来て下さい。

(元留学生：ノディルさん)

* 名古屋大学生は元気になっています。僕は、今日被災地に送る物資の仕分け・梱包などのボランティア活動に参加してきました。

(留学生：トルキンさん)

* 日本で起こった悲劇は、その時私たちはウズベキスタンにいたとはいえ私達の悲劇でもあります。私の家族は日本の人々と大好きな日本のためにお祈りしています。皆さまがお元気だという「お知らせ」を読み安堵しています。皆さまのためにお祈りします。(原文要約)

(ディリヤ・イクラモワさん)

* 今タシケントにいます。日本の皆さまのためにお祈りします。すべてがうまくゆきますように。

(留学生：アントン・キムさん)

* 皆さん大丈夫ですか。こどもと夫の実家（大阪）に避難しています。被災地への支援を何かするようでしたら、キルギス人で東京に残っている者でクッキーなど作って参加すると言っています。(ジュールウズさん)

* 国難とも思へるような今回の災害、個人では何の力を出せませんが、一人ひとりの力を合わせて被災地の皆様の一日も早い復興と健康を祈らずにはおられません。私も仙台の教室に50名近い生徒がいるのですが、いまだに3名の方の消息がわかりません、心配するだけで何も出来ない無力な自分が情けなくなります。福島の教

室の人たちは地震と原発事故で本当に大変な生活を強いられているようです。

春なのに遠すぎる、本当に遠いすぎる春になってしまった被災地の皆さんの健康だけは祈ります。

(会員：高橋和子さん 南京たますだれ楽笑一門会会長)

* 家族は心配していますが、日本に残って働いています。僕たちウズベク人で何か被災地の人たちを元気付けることはできないかと電話しました。
(会社員：シヨンさん)

* 東北地方の被災地（盛岡、会津、仙台）にお住まいの会員は4名ですが、皆さまご無事でした。福島ウズベキスタン友好協会会長宍戸さんも、大丈夫とのことでした。

* 福島ウズベキスタン友好協会の副会長の寺島幹雄さんは、元抑留者で相馬市に住んでおられ、この度の地震で新築中の家を津波に流され、ご長男を亡くされ、現在避難所に奥様とおられます。淡々と「哀しみ」を電話で語られるお声を聞き、言葉など何も役にはたたないと、傾聴するのみでした。30年にわたってのウズベキスタンとの付き合いで、お世話した多くのウズベクの元留学生・研修生とその家族から、お見舞いの言葉が届いているそうです。ウズベキスタンで桜を植樹した時の写真が載っているアルバムが瓦礫の山となったお家のあとから見つかったということです。
(事務局：永峯)

(東北関東大地震一2)

(3月28日 会員：高橋和子さんより)

- * 一番気にしていた気仙沼の生徒から今日無事であるとの連絡がありました。まだ石巻の一人とは連絡が取れていません。また福島の人たちは原発事故のために本当に困難な生活を強いられているようです。とにかく心は痛めてもどうすることも出来ないことが悔しくてなりません、国難とも思えるようなこの災害の立ち直りに少しでも力を貸せればと思います。

(4月1日 「協会からのお知らせ」より)

- * 先にご紹介した、福島ウズベキスタン友好協会の寺島さんとお電話で何回かお話をしております。
 - ・食料などは、自衛隊が運んでくる食材での炊き出しがある。現在避難 所に残った者は10名。(最高齢92歳。寺島さん85歳。) ガソリンは、後片付けと行方不明者捜索のために使われ、一般人にはまわってこないの病院に行きたくてもいけない。明日医療団、赤十字医療団が来ると言う。でもあんまりわがまを言えない。(3月29日)
 - ・昨日、車で病院に連れて行ってもらって薬をもらってきました。(3月31日)
 - ・寒さと疲れからか体調を崩し少々下痢気味とのことで、「水分補給を十分に」と伝えましたが、「冷たい水なのでついひかえてしまう。」と。
 - ・「避難所(中学校)で、電気のコンセントはある。」「ク●●●便が現地までの配達可能。」を確認し、有志で湯沸ポットを送りました。何日かかるのでしょうか。
 - ・本日ようやく福島市をむすぶバス路線が復活したとのことで少しお声も明るく聞こえました。(4月1日)

※ ウズベキスタンから、これまでに世話した留学生とその家族から、お見舞いの電話が沢山寄せられているそうです。

- * 3月28日 京都のTさん(元サマルカンド外大日本語教師)という方から「筑波大の寮が地震で被害を受け修理しなくてはならぬ住めなくなったというので、元教え子をはじめ友達を9名引き受けたが、そのうち8名は一時帰国し教え子だけが残った。彼も長く世話になるのは申し訳ないので、今日の夜東京に向けて帰ると言うが。」とのTELがありました。「東京にとっても東京近辺の留学生は、ほとんどみな帰国している。名古屋大学には残っているようなので、そちらをあたってみては。」とアドバイスしました。

結局、大学では寮など紹介できないというので、知り合いのT君に問い合わせたら、「いいですよ。1か月でも大丈夫です。」と頼もしい返事が来ました。現在、一旦荷物を取りに戻った筑波で知り合いの留学生に世話になっているようですが、できれば同じ国の学生がいる名古屋がいいのではないかとTさんは言っていました。

- * ウズベキスタンからは、先にお知らせしましたように特別便で、長靴2000足、テント200張、毛布2000枚が届き、福島県にテント、毛布、宮城県に長靴が届けられたそうです。

○ ウズベキスタンのカリモフ大統領から菅総理には以下のような書簡が送られました。

- ・大地震と津波により、多くの地域が甚大な被害を受けたとの報に、深い痛みとともに接しました。日本国民の皆様を察するとともに、犠牲者の親族の皆様へ深い哀悼の意を表し、被災者の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。
(ウズベキスタン共和国大使館発行「大使館ニュース」より)

(4月11日 「協会からのお知らせ」より)

- * 先にお知らせしました、福島県相馬の寺島さんは、先日のお電話で「ようやく11日に町営の住宅に移ることになり、ばらばらだった家族5人が一緒に住めます。これからは、すべて自分たちでやって行かなくてはならないですが、頑張ります。」と明るい声で話されていました(ポットは4月3日に届いたとのこと)。
- * 『『トークの会』で『北方領土問題』を話されたグルジアのイヴァネさんが、怪我をしたのでは?』との問い合わせがありました。矢張りご本人でした。ようやく退院されたとかで、メールが届きました。(4月4日)
 - ・ こんにちは。グルジアのイヴァネです。お見舞いのメール、どうもありがとうございます。私は一昨日退院しましたが、まだ部屋で安静しています。松葉杖を使ったら数十メートルは歩けますが、松葉杖を使わずに歩けるようになるのは2カ月ぐらい後のことかな。
日本ウズベキスタン協会の他のメンバーは皆無事でしょうか。皆さんによろしくお伝えください。私はリハビリ頑張ります。それでは、ご自愛のほどお祈り申し上げます。
ノザゼ・イヴァネ 拝

【地震情報—4月28日】

- ★ 福島県相馬市の寺島さんと筑波大学の留学生Bさんのその後をお知らせします。
- ★ 高齢のため、町営住宅に優先的に入居することができました。入居にあたっては生活用品一式が支給されたので、今のところ日常生活には不自由しません。やはり「我が家」はいいです。避難所で、下痢などに悩まされましたが、だいぶ元気になりました。「大黒柱」を失いましたが、これからは自分がしっかりしなくてはと思っています。4月にウズベキスタンに行く予定でしたがだめになりました。ウズベキスタンからたくさんのお見舞いの電話をもらいましたので、秋にはできれば行きたいです。
これまでは「頑張れ」といわれてもどうやってこれ以上頑張ればいいのかわからなかったけれど、将来のことも考えられるようになりました。
と、張りのあるお声が電話口から聞こえました。
- ★ 筑波大学で地震のため寮にいられなくなったウズベクの留学生の行き先を相談してこられたTさんから、4月18日に「しばらく筑波に戻って知り合いの留学生のところにはいましたが、このたび名古屋大学の方に移りましたとの連絡が入りました。

- * 以下、事務局に届いた留学生、会員の皆様からの大震災に関するお便りです。

- ★ お元気ですか。このたびの原発事故については、すべて安全だと思われまので、帰国することは考えず、元気に過ごしています。ただ、日本の皆様がこのような災害にあわれたことは大変お気の毒なことだと思っており、早くに復興なさるよう祈っています。
私は今漢字を500文字覚えようとしています。そして、2ヶ月以内に「1000文字克服」を目指しています。そうすれば、基本的な本を読めるようになってもっと日本のことを学べると思います。
(原文英文 早稲田大学修士課程：SHARIPOVさん)

- ★ お元気でしょうか？長い間連絡できなくて申し訳ありません。震災や原発のことが心配で一時神戸に避難していました。帰国するかどうかでいろいろ考えて結局東京にいることにしました。今東京で仕事をしています。
協会のイベントが再開してよかったです。皆さんと会ったら震災のストレスを忘れると思います。
私はダンスと料理を作るイベントに参加したいと思っています。(ファリザさん)

- ★ 今年の千鳥が淵の桜はどうだったのでしょうか？私の目には何処の桜も涙桜のように映りましたが～昨日今日のニュースで、被災地の方々も被災後の初めての酒宴、それは桜を愛でながら「絶対頑張って、自分たちの町を復興する」という新たな決意の宴という映像をみて少しホットした気分になりました。
父が港を造る仕事それも東北地方の港をという関係で幼い頃に住んだ町が次々に津波に襲われていく映像には生きた心地がしませんでした。特にいわき市は高校時代をすごした地であり、津波のみならず放射能汚染までも。被災した友人を励ますつもりが、こちらが元気をもったりいろいろなひと月でした。自然とどう対峙し、今までの便利さを物質的な生活をどう変えていくべきか～
「日本は絶対復興する。それも前よりもいい状態で～」と思っています。(会員：上野 志津代さん)

- ★ 浦安市はテレビ報道などされておりますが、地震・液状化で道路の陥没・亀裂が各所で発生、一部傾いた家

が見られる等で被災地認定されました。幸い我が家はタイルの一部破損程度で済みましたが、一時隣地との境で水が噴出し心配しましたが大事に至りませんでした。ライフラインの痛みが大きく今もガス・下水が仮復旧の箇所が見られますが、私の地区は5日目には回復正常化しています。ただ計画停電やられたのには参りました。

(会員：伊藤 雄一さん)

- * 所属している「男子厨房に入るべし」のグループ男子20名で 3月28～29日にかけてシュウマイ1,500個を作り（2個入りパック詰め750個）、「がんばれ福島 元気玉」のラベルを貼った温かいシュウマイを29日に「さいたまアリーナ」で福島県被災者の老若、お子様の方々に差し上げました。

長い列で750パックを全員に行き渡らなかつたことが心残りでした。

毎日入浴できず、おにぎり、菓子パンその他等が多く、衣食住が満たされず本当にお気の毒きわまりない思いでした。

3月30～31日さいたま加須・騎西高校跡へ引越移動されました。福島県の皆様お疲れさまでした。

(会員：山本 實さん)

- * いつもお世話になっております。在日キルギス人協会のアセーリです。皆さんはお元気でいらっしゃいますでしょうか。

大地震があつて1ヶ月が経ちました。この1ヶ月はとても長かつたですね。毎日毎日大変な状態に直面した日本人の一体化を見てきて、いろいろな面で勉強することができました。

地震の影響で帰国したキルギス人もいましたが、幸いなことに残っている人もいます。また、徐々に戻ってくる人も増えています。

日本国は今大変な状況にあると思いますが、日本復興のために私たちも共にできる限り応援し勤めていきたいと思ひます。

また、日本とキルギスを繋げるような機会を是非増やしていきたいと思ひます。

まだ余震も続いており、停電や電車の運休、スーパーの品薄など不便なことも続いていて、疲れている人もいますが、どうぞ皆さんも身体に気をつけて、元気に過ごしてください。

(在日キルギス人協会：アセーリさん)

- * 三重県伊勢市の西野 進です。東日本大震災から早くもひと月が経ちました。私は、元気にしています。

震災の影響は、私の県にも及んでいます。陸上での被害は、無かつたものの最大1.8mの津波が伊勢湾、熊野灘等の沿岸部に押し寄せ、三重県の水産被害は、約40億円とのこと。主に、海苔、ハマチ、牡蠣、真珠養殖といった、養殖筏が、被害を受けました。

また、流通面では、被災地優先の為、2割のペットボトル、単1、2といった商品は、ほとんど入荷してきません。車の部品等、従来なら数日で手配できた物が、一月待ちとか、今回の震災の影響は、広範囲に出ているみたいです。機会ありましたら上京します。その時、お話できたらと思ひております。まずは、近況報告まで。

(会員：西野 進さん)